



久留米初演 100 周年記念演奏会ベートーヴェン第九について ～近代の久留米、商工都市へと導いた「ドイツさん」～

1. ドイツ兵捕虜が久留米に与えた影響

当時の久留米市民は、久留米俘虜収容所のドイツ兵捕虜たちのことを、親しみを込めて「ドイツさん」と呼んでいました。「ドイツさん」達は、軍都として発展の道を歩み始めた本市に、近代ヨーロッパの文化やスポーツを紹介しただけではなく、市の予算額を超える消費支出によって経済を潤し、ゴム産業を中心とする新たな技術革新に多大な貢献をしました。その後のゴム産業を基幹とする商工都市への発展は、ドイツ兵捕虜たちの存在を抜きにしては語れません。

大正8年（1919）12月3日、久留米に収容されていたドイツ兵捕虜により、久留米高等女学校講堂（現明善高等学校）で、ベートーヴェン交響曲第9番第2・3楽章の演奏が行われました。これは市民が初めて「第九」の演奏を鑑賞したもので、今年12月に初演から100年目を迎えます。



大正8年12月3日久留米高女での演奏会

2. 市制130周年記念「久留米初演100周年記念演奏会ベートーヴェン第九」の開催

日時：令和元年12月28日（土）15時開演（14時開場）

会場：久留米シティプラザ ザ・グランドホール

内容：久留米市の歌（斉唱）

ベートーヴェン交響曲第九番ニ短調「合唱付」作品125 ほか

主催：久留米第九を歌う会

共催：久留米市

3. 久留米第九を歌う会合唱団の設立

市内外から約200人が集結し「久留米第九を歌う会合唱団」を設立。今月20日に合唱団の発足式と第1回目の練習を行いました。

【練習スケジュール】

日程	時間	会場	備考
9月 3日(火)	19時30分～21時	くるみホール	
9月24日(火)		くるみホール	
10月1日(火)		くるみホール	
10月15日(火)		共同ホール	指揮者指導
11月 5日(火)		くるみホール	
11月19日(火)		くるみホール	
12月10日(火)		くるみホール	
12月20日(金)		くるみホール	